



「第5回キンボールワールドカップ2009」

- 派遣期間：2009年10月25日(日)～11月2日(月)
- 大会期間：2009年10月26日(月)～11月1日(日)
- 開催場所：カナダ・ケベック州 トロワ・リヴィエール市
- 部門：シニア（一般）／男子の部、女子の部、ジュニア（13～14歳）
- 大会結果：男子の部 優勝／カナダ 準優勝／ベルギー 3位／日本
女子の部 優勝／カナダ 準優勝／フランス 3位／日本

第5回大会にあたる今大会、日本は、男子の部、女子の部選手16名、コーチ等スタッフ15名、合わせて31名の選手団で参加をいたしました。

今大会は、男子8ヶ国（カナダ、フランス、ベルギー、スペイン、スイス、ドイツ、デンマーク、日本）、女子6カ国（男子の参加国よりドイツ、デンマークを除く各国）の参加があり、スイスがワールドカップ初参加となりました。

大会運営として、ホテルでのインフォメーションコーナー、大会会場までのシャトルバス、パーティーの演出、毎日用意されていたツアー、アクティビティー、試合運営、緊急対応等は大変素晴らしいものでした。

また、今回初めてカナダのレフリーだけでなく、日本、ベルギーからもレフリーが参加したことは、大会にとっても、我が国の今後のキンボール界にとっても意義深いものになりました。

日本男子チームは予選2位の結果により準決勝免除で決勝へ、日本女子チームは予選3位で予選を終了し、予選3～5位で行う準決勝勝者として決勝進出を果たしました。

しかし、試合内容については予選から決勝にいたるまで、インフルエンザ、怪我等の影響で、日本男子チームは選手8名中実質4名だけの試合もあり、日本女子チームも各々の怪我など満身創痍の中での試合が続き、特に決勝戦中に2名の選手を突如欠くなど、今までにない厳しい状況での戦いを余儀なくされました。閉会式には男女選手合計16名中6名が参加できない状況でもありました。

男女とも3位の銅メダルという結果に終わり、結果には選手をはじめ関係者一同全く満足はしていません。しかし、最後まであきらめずに堂々と自信とプライドを持って一所懸命にプレーする姿、強烈なヒットを走り回ってレシーブする姿は、世界に強烈なインパクトと感動を与えたと確信しています。その結果が、試合途中で度々起こる各国の「ニッポン」コール、試合終了後に日本チームに多数押しかけたユニフォーム交換を希望する人達に表われていたのではないかと思います。

今大会も第4回大会に引き続き、日本国内の皆様から多数の寄付金もいただきました。ご声援も数多くいただきました。本当に皆様のご支援に感謝しております。有難うございました。

また、2011年には日本でのワールドカップが開催されます。日本はそれに向けて新たなスタートを切ります。今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

★より詳しいレポートが日本キンボール連盟ホームページにてご覧いただけます。

日本キンボール連盟ホームページ <http://www.newsports-21.com/kin-ball/>

トップページ⇒レポート⇒第5回キンボールワールドカップ2009より